

平成24年度5月20日
今週のベストショット



青松園A 奈多フェニックス 対 雁ノ巣ライナーズ戦
好調ライナーズを1安打完封！フェニックス池見投手。

(写真：新町パイレーツ 安部貴大)

奈多グラウンド

ブルーマーリンズ (0勝3敗) 3 0 0 0 0 3 江口○、首藤一、首藤、荒口

奈多サンデーズ (4勝0敗) 0 1 1 2 2 X 15 林●一、高橋

HR：八島、田中(俊)×2、野々下×2、首藤(奈多サ) 3BH：野田(奈多サ)、林(ブルー)

2HB：野田(奈多サ)

初回ブルーマーリンズは、奈多サンデーズ先発江口投手の立ち上がりを攻め3点を先制。その裏、適時二塁打を打って先発マウンドに立った林投手は、強力サンデーズ打線を三者凡退に打ち取り上々の滑り出しを見せた。しかし、続く二回裏サンデーズ打線が爆発する。本塁打5本を含む8安打で11得点を叩き出し一気に試合のペースを掴むと、続く三回も田中選手のこの日2本目となる本塁打などで2点、四回にもさらに2点を加えたサンデーズが、15対3とブルーマーリンズをコールドゲームで下した。あと本塁打1本でサイクル安打達成だった2番野田選手や、3番～6番打者で計6本の本塁打を放った中軸打線と、今年もサンデーズ打線は和白リーグ最強の打線である事に疑いの余地はない結果となった。(記事：三球会 小倉圭太、写真 中村元)



一回表 Bマーリンズ4番林選手の先制二塁打。



二回裏、サンデーズ5番野々下選手が初球を反撃の一発。



二回裏、四者連続本塁打の口火を切る3番八島選手。



目下、打点&HR王の4番田中（俊）選手もHRで続く。



二年連続四者連続HRの仕上げは首藤選手のヘッド。



五回表、サンデーは首藤選手がマウンドへ。

雁レク6

三苦フレンズ	(0勝4敗)	00000	0	生野(拓)●、塔本一御手洗
三苦ホーネッツ	(4勝0敗)	36001×	10	井手○ー松尾

2BH: 広木 (三苦ホ)

三連勝と好調なホーネッツに対しフレンズの若い生野(拓)投手がどういふ投球をするか興味そそる試合だったが、結果的には一方的な試合展開になった。一回裏先頭の山崎選手がライト前で出塁し、3番松尾選手の犠牲フライで先制。続く広木選手の二塁打と四球の稲葉選手を井手選手がレフト前タイムリーで返し3点。二回裏、死球の池間選手を2番塚選手がきれいなセンター前で返すと、さらに四死球で出た走者が足を使って相手エラーを誘い、打者一巡で6点を奪った。一方フレンズは、ヒットは出るものの後が続かず得点することが出来ない。五回裏ホーネッツは、ヒットで出塁した山崎選手を松尾選手がセンターオーバーで迎え入れ10点差コールドゲーム。打力もあり足を絡めたホーネッツの攻撃は見事だったが、若い選手が加入したフレンズが今後どういふ試合展開をするのか期待を感じさせる一戦だった。(記事: 三友クラブ 駄原孝一郎、写真: 同 大坪和則)



フレンズ先発の若い生野(拓)投手。



フレンズ打線を3安打に抑えたホーネッツ井手投手。



一回裏、先制となる犠牲フライを打つ松尾選手。



二回裏塚選手のヒットでホームインする山崎選手。



四回裏セカンドゴロにしとめる吉村、生野コンビ。



五回表ヒットを放つフレンズ肥喜里選手。

青松園A

奈多フェニックス (4勝0敗) 4 0 0 3 1 8 池見○—実延

雁の巣ライナーズ (2勝1敗1分) 0 0 0 0 0 0 樽野●—奥原

HR: 今林勇太、今林文彦、西藤(奈多フ) 2BH: 今林英二、池見(奈多フ)

一回表フェニックスは、今林勇太選手が先頭打者HRを放ち、先制点を獲る。その後、四球とエラーで二三塁として6番の今林文彦選手が左中間を破る3ランを打ち、初回で一挙4点を獲得する。四回にもフェニックスは2番西藤選手のソロHR、今林英選手のタイムリーツーベース等で3点を奪い、次の回にも1点を追加し合計8点を獲った。ライナーズも良い当たりを何度か放つも、フェニックスセンターの安河内選手を始めとする堅い守備陣に阻まれた。フェニックス池見投手は四回まで完全試合ペースだったが、最終回に惜しくも内野安打1本を許してしまった。しかし完封で無傷の4勝目。(記事、写真: 和白新町パイレーツ 安部貴大)



初回3ランHRを放ったフェニックス今林文選手。



最終回までパーフェクトピッチングのフェニックス池見投手。



堅守で攻守ともに活躍フェニックスの西藤選手。



ライナーズ樽野投手は苦しいピッチングとなった。



最終回到内野安打で出塁したライナーズ奥原捕手。



意外な大差でフェニックスが全勝を守った。

青松園B

レッドサンデーズ (1勝2敗) 3 0 0 0 2 5 1 0 ●土師、土田一三船

奈多クラブ (1勝2敗) 1 0 8 0 3 X 1 2 ○赤沢、今林賢人、今林卓也、今林常光—今林卓也、赤沢

HR: 今林祐将 3 BH 今林卓也、落石 2 BH 今林健、今林卓也

先攻のレッドサンデーズは初回、2番川原選手の内野安打を足がかりに三四球で幸先良く3点を先制した。その裏、奈多クラブは先頭の今林賢人選手がレフト前ヒットを放ち、盗塁と2本の内野ゴロで生還するものの序盤はレッドペースで試合が進んだ。状況が一変したのは三回裏。奈多クラブの強力打線が爆発し、打者12人で一挙8点のスコアを叩き出した。特に4番今林祐将選手の本塁打、5番今林卓也選手の球足の速い三塁打と、中軸が破壊力を誇示、力強さを見せつけた。レッドも五回表、四球を挟んで2点を返すが、逆にその裏に3点を奪われてしまう。この加点で試合は決したものと思われたのだが、試合を諦めないレッドは最終回到怒濤の追い上げを展開する。この回から登板した今林賢人投手の制球難に乗り、三四死球で1点を返しなお満塁。ここで捕手の今林卓也選手が急遽登板するが、連続三四球で試合の流れは、一気にレッドに傾いてしまう。しかし、この一打逆転の場面で、奈多クラブベンチは今林常光選手をマウンドに送る。ベテランの今林常光選手は堂々たるマウンド捌きでスローボールを操り、レッドの攻撃を3人で捌く(さばく)事に成功し、絶体絶命のピンチから脱出した。痺れる展開の中、最後を冷静に締めくくった今林常光選手に改めて拍手を送りたい。

(記事: 塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真: 松下照夫)



奈多クラブ先発の赤沢大輔投手。



三塁ランナーを迎え入れる奈多クラブ、今林健選手。



三塁打を放った奈多クラブ、今林卓也選手。



打線爆発に監督の顔がほころぶ奈多クラブ。



本塁死守！レッドサンデーズ三船捕手。



緊急登板で戸惑いを隠せない奈多クラブ、今林卓也選手。



最後を締めたベテラン、奈多クラブ今林常光選手。



激闘を称えあう両チーム。

第6週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ

さて、5月20日の試合を振り返ります。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対奈多サンデーズ戦は、昨年サンデーズが四者連続を含む7本のHRを放ち圧勝していました。今回は先行のBマーリンズが四番林投手の適時二塁打を放つとエラーも重なり、いきなり3点を先制。さらにその林投手が初回を三者凡退に抑え込み、「ヤバイ」状況に。しかし、二回裏この日4番に入った田中俊弘選手が出塁して5番野々下選手が嫌な空気を振り払う2ランを放つと、一回りして3番八島・開幕から4試合連発の田中・この回2本目の野々下・仕上げに首藤選手と二年連続四者連続HRを放ち一気に試合を決めました。我がチームながら恐ろしい破壊力です。

雁レク6番球場のフレンズ対ホーネッツ戦は、ホーネッツが投げた井手投手が3安打完封、11安打10得点の0-10Xのコールドでフレンズを下しました。Hornets25さんから書き込みがありました。コールド時を含むサヨナラ安打については、早田記録部長からのコメントがありました通りランナーがサヨナラのホームを踏んだ時点で試合終了なので、柵越えHRのみHRと認定されるようです。コールドではなくサヨナラ勝利の場面で私も一生懸命ホームまで帰ってきたことがあります。HRにはならなかったですね。抜けた時点で野手が追いませんから。6月9日の運営会議ではっきりさせて、HP上で報告をしたいと思います。確かに打ったホーネッツ3番松尾選手にしてみれば、HRとシングルヒットでは全く違いますね。こういう試合では先攻を取っていればと思ったりもします。フレンズ生野投手はピッチングに2安打放ったバッティングにと若い力の片鱗を見せています。今後に期待します。

青松園Aのフェニックス対ライナーズ戦は、8-0とまさかの大差がつき、結果を聞いた瞬間「うそ？」と思いました。聞く話によると、ライナーズ樽野投手・鳥越選手ともに前日宮崎で4試合をこなして、日帰りで帰ってきての試合だったとか。まあ、それを差し引いても先頭打者HRを放った今林勇太選手をはじめとするフェニックス打線の破壊力と池見投手の好投は特筆すべきものがあります。今年も優勝を争う力を十二分に発揮しています。

青松園Bのレッド対奈多クラブ戦は、制球の定まらない奈多クラブ先発赤沢大輔投手から幸先よく3点を先制したレッドでしたが、3回裏に8本の長短打を集中させ、見事にひっくり返した奈多クラブが、最後ヒヤヒヤしながら緊急登板となった今林常光投手の見事な火消し振りで12-10で勝利しました。これだけ点が入っていないながら、よく六回まで行ったなと思います。

5月27日は4試合です。

青松園A	新町ウインズ	対	新町パイレーツ	三苦ホーネッツ
青松園B	三苦三球会	対	レッドサンデーズ	奈多フェニックス
雁レク6	塩浜ジャガーズ	対	奈多クラブ	雁ノ巣ライナーズ
雁レク7	三友クラブ	対	ブルーマーリンズ	奈多サンデーズ